

# 住み続けたい

# まちづくりへ前進

# 医療・福祉・教育施設を充実

## 9月定例会議

9月定例会議は、9月7日から14日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、29年度会計の決算認定のほか30年度補正予算など13件が提出され、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では2人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



29年度に開院した新葛巻病院

## 監査委員の意見

29年度決算はすべての会計が黒字です。各種財政指標は堅調であり、財政運営の健全性が維持されています。

景気の回復が地方まで浸透していない中、固定資産税や町民税などの普通税と国保税ともに前年度の徴収率を上回りました。特に国保税の未収金は512万円減少しており、職員の徴収取り組みに対する創意工夫の成果が表れています。今後も

さらなる取り組みに期待します。

町の喫緊の課題である人口減少には、定住住宅の整備を継続するなど具体的な取り組みをしており、移住者の増加など成果が出ています。

近年、医療・福祉・教育の充実に力を入れていることが感じられます。今後は各施設整備に係る起債の償還や施設維持管理経費が発生しますが、引き続き堅実な財政運営を望みます。

## 決算の概要

29年度の全会計の総支出額は、87億4393万円。前年度比1億7878万円、2.1%増加しました。

一般会計の支出額は、72億3177万円。前年度比1億81万円、1.4%の増加です。28年度台風10号豪雨災害の災害復旧事業や新病院建設に対する病院事業会計への繰り出しなどが増額の主な要因です。

3特別会計の支出総額は、15億1216万円。前年度比7797万円、5.4%増加しました。

29年度は新病院の開院、養護老人ホーム葛葉荘の開転、葛巻町学習塾の開

## 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく29年度の一般会計、特別会計、第3セクターの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

### ●健全化判断比率

各指標	29年度	28年度	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	5.4%	5.0%	0.4
将来負担比率 (350%)	なし	なし	-

※各指標の( )内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

※将来負担比率は、将来負担見込額が充て可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。



町長に意見書を提出する監査委員

### ●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。

## 29年度決算状況

会計名	収入	支出	
一般会計	78億7204万円	72億3177万円	
特別会計	国民健康保険事業	13億1138万円	12億4548万円
	農業集落排水事業	2億805万円	1億9718万円
	後期高齢者医療事業	7297万円	6950万円
合計	94億6444万円	87億4393万円	

校、小屋瀬小学校校舎改修など安全で安心な住み続けたいまちづくりに向けて、さらに前進した事業が行われました。